

平成21年度の各予算を可決 一般会計と介護保険など 3特別会計は賛成多数

第1回定例会を2月20日から3月23日までの32日間の会期で開催し、議員提出議案1件、意見書2件、市長提出議案42件、陳情4件を議決しました。

また、2月22日には日曜議会を開催し、多くの市民が傍聴する中、市長の施政方針に対し、各会派の代表者等が質問を行いました。



一般会計予算と 9つの特別会計予算を可決

予算は、市の1年間の収入と支出を市長が提案し、議会の議決により成立します。市の予算には、一般会計予算と9つの特別会計予算があります。

一般会計は、市の根幹となる会計であり、税収入を主な財源としています。一方、特別会計は、特定の事業等について、特別の必要がある場合に一般会計から区分して、その収支を別個に経理している会計で、法律や条例で設置が定められています。

議会では、平成21年度の各会計予算について、議長を除く23名の議員による予算特別委員会（井沢邦夫委員長）を設置し、10日間にわたり様々な角度から審査を行いました。その結果、一般会計予算と介護保険（保険事業勘定）特別会計予算など3つの特別会計予算は賛成多数で、その他の6つの特別会計予算は全員賛成で、そ

れぞれ可決しました。

賛否の分かれた一般会計予算と3つの特別会計予算に対する各議員の表決結果は下の表のとおりです。また、一般会計予算に対する各会派の見解は、5～7ページをご覧ください。

当初予算の補正第1号を可決 ～市民生活・市内事業者 緊急支援等を補正～

現在の経済情勢の悪化を踏まえ、市民生活や市内事業者への緊急支援事業として、平成21年度の当初予算においては「恋ヶ窪保育園暫定園舎の活用による待機児童の解消事業」や「小口事業資金融資制度における緊急対策事業」等が提案されています。予算特別委員会の審査や市長の施政方針に対する代表質問においても、これらについて多くの質疑が行われました。

その質疑の中で、「多摩地域の類似市に比較して保育行政が手薄になっているのではないかと待機児童の解消を進め、両親がともに安心して働けるよう条件整備を早急に図るべきだ」「小

口事業資金融資制度における緊急対策事業は、事業の期間を延長するとともに返済期間を延長するべきだ」「雇用状況の改善のため早い時期に関連予算を計上する必要がある」等の指摘がありました。

このような状況の中、市長は、議会最終日が迫った3月18日に、平成21年度一般会計補正予算（第1号）を提出しました。

この補正は、当初予算363億3,700万円に、歳入歳出それぞれ1億1,177万7千円を増額し、その総額を364億3,817万7千円とし、債務負担行為として、緊急対策資金事業である国分寺市融資制度による損失補償など2件を追加するものです。歳出の主な内容は、保育所入所児委託費、認可外保育施設費、緊急地域雇用対策費、小口事業資金融資費等を増額し、ふるさと緊急雇用再生特別事業と緊急雇用創出事業を計上するというもので、議会の指摘に沿った内容となりました。

本補正予算については、補正予算審査特別委員会、本会議ともに全員賛成により可決しました。

平成21年度予算に対する各議員の賛否の状況

（委員会で賛否の分かれた予算案については、本会議で記名投票を行っています。）

会派名	議員名	表 決				会派名	議員名	表 決			
		一般 会計	特別 北口	介護	後期			一般 会計	特別 北口	介護	後期
日本共産党 国分寺市議団	中山 幸子	×	○	×	○	国分寺・生活者 ネットワーク	片畑 智子	○	○	○	○
	やなぎ孝義	×	○	×	○		多良京壱子	○	○	○	○
	川合 洋行	×	○	×	○		梁川 律子	○	○	○	○
	幸野おさむ	×	○	×	○		釜我 健二	○	○	○	○
公 明 党	木島 崇	○	○	○	○	市民サイド	亀倉 順子	○	○	○	○
	高橋りょう子	○	○	○	○		森 喜行	○	○	○	○
	さの久美子	○	○	○	○		三葛 敦志	×	×	○	○
	松長 孝	○	○	○	○	無 会 派 (民主党市議団)	興津 秀憲	○	○	○	○
自由民主党市議団	井沢 邦夫	○	○	○	○	無 会 派 (市民クラブ)	星 文明	×	○	○	×
	新海 栄一	○	○	○	○	無 会 派	甲斐よしと	×	○	○	○
	高相 健一	○	○	○	○	無 会 派	木村 徳	×	○	○	○
	須崎 宏	(議長)				無 会 派 (新和会)	いとう太郎	○	○	○	○

表 決 (○=賛成 ×=反対)
特別会計 (北口=国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業、介護=介護保険(保険事業勘定)、後期=後期高齢者医療)

小金井市のごみ処理支援について

小金井市の可燃ごみ処理の支援について、市は、小金井市と覚書を交わし、「平成21年2月までに共同処理のための建設場所を小金井市が決定する」ことを前提に、他の団体の受入量よりも多く、ごみを処理してきました。

しかし、小金井市はこの約束を果たせず、国分寺市をはじめ関係団体に、引き続いての処理要請を行っています。議会には、市長から現状や今後の対応について、本会議等で報告がされましたが、多くの議員から様々な質問や意見が出されました。

また、市長は、定例会最終日（3月23日）までに小金井市と調整し、この可燃ごみ処理支援に関する予算議案を議会に提出すると表明していましたが、提案がされませんでした。

なお、市長は、本件を含め4件の議案を付議して臨時会（4月8日開催）を招集しており、議会としても引き続き、議論をする予定です。